

蕪崎市都市計画マスタープラン及び道路整備計画策定委員会
(蕪崎市まちづくり研究委員会) 第6回 議事録

開催日時	令和7年2月18日(火) 16:00~17:00
開催場所	市民交流センターニコリ 多目的ホール
出席者名	石井委員、岩下委員、柳本委員、山田委員、河西委員、水上翔委員、平賀委員、今福委員、市川委員、向山委員、高村委員、久保田委員、佐々木委員、森田委員、水上浩之委員、内藤委員、堀川委員
欠席者名	一木委員、山本健一委員、大澤委員、西田委員
傍聴者	2名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 蕪崎市都市計画マスタープランについて (2) その他 4. その他 5. 閉会
第6回策定委員会	
1. 開会	本会議は公開の対象となることから、会議を公開とさせていただきます。
2. 会長あいさつ	
事務局	会長よりご挨拶をよろしくお願ひしたい。
会長	お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。こうやってあいさつするのもこれで最後になる。うまくまとまればと思うので、最後まで活発なご議論をよろしくお願ひしたい。
3. 議事	
(1) 蕪崎市都市計画マスタープランについて	
事務局	(資料1. 2. 3について説明)
会長	資料の1から3までで質問、意見等あればお伺ひしたい。
A委員	資料1のパブリックコメントの結果について、非常に貴重な意見だと思うが、意見をいただいた方に、しっかりと市の考え方を伝えているということによろしいか。
事務局	パブリックコメントの結果については、直接個人に回答することはしないということになっているので、この表現の回答となっている。

A 委員	それは、市の考え方を見られるような状況ということではよろしいか。
事務局	そのとおりである。
A 委員	<p>せっかく意見をいただいたので、自分の意見がどのように反映されているか、しっかり分かるようにしていただけたらと思う。</p> <p>パブリックコメントを提出した方が1名ということで、さみしい状況であるが、市民に周知して、多くの意見をいただけるような状況ではなかったのか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントについては、できるだけ周知・広報をしている。広報・ホームページ、市の窓口で、他の計画と合わせて周知をさせていただいた。他の計画でもパブリックコメントの結果が出ていると聞いていたので、あまり周知不足とは考えていないが、意見は少ないと事務局でも感じている。広報としてはできる限り周知はできたが、もう少し興味をもっていただけるような周知の工夫をする必要があると反省している。</p>
A 委員	これだけでなく、一人でも多くの市民の意見をいただけるような周知の工夫をしていただきたい。
B 委員	資料1のパブリックコメントの天神地区は、水神地区のことではないか。
事務局	ご指摘のとおりであるが、いただいた意見をそのまま掲載している。
B 委員	<p>同じく、資料1の釜無川越水時によるトンネルの浸水に対する対策については、国土交通省の浸水ナビによると、このトンネルの浸水は起きないことになっている。想定最大規模の降雨による釜無川の氾濫の場合においても、トンネルに水が入らないということは、何かの機会の説明してあげたほうがよい。</p> <p>資料3のNo.19と20の意見の種類の住宅地や集落地の塗りを、色塗りとしていただきたい。</p>
会長	続けて事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料4について説明)
会長	資料4で質問、意見あればお伺いしたい。
C 委員	<p>4ページのまちづくりの方針～全体構想～の2道づくりの基本方針の国道20号の渋滞解消に向けた骨格道路網の形成について、国道20号の渋滞解消のために、他の道路や他の道路網の整備をすることによるといった捉え方をされるため、できれば国道20号自体の渋滞解消をするとはっきり書いた方よい。また、2ページ目のまちづくりの主要課題のところにも書いていただくと要望しやすいので、ご配慮いただ</p>

	けたらと思う。
事務局	先日、国交省と県、市の3団体で国道20号の渋滞解消に向けた第1回検討委員会を開いたところで、そこでかなり前向きな話になってきたため、意見を反映させる形で進めていきたいと考えている。
D 委員	4ページ目右側の8安心して住み続けられるまちの「災害が発生しにくい」という表現について、「災害が発生しても被害を最小限に食い止める」というふうに変えていただきたい。
事務局	検討させていただく。
E 委員	7ページの神山・旭・大草・龍岡地域の図面の下の工業拠点の楕円を広くしていただきたい。将来的に、工業団地拡大の可能性があるようであれば、広くすることも検討いただきたい。
事務局	先日の旭・有野バイパスの説明会で住民の皆様からもいろいろご意見をいただいていたところであるので、検討させていただきたい。
A 委員	葦崎・藤井地域の市営総合運動場の位置づけについて、どのような拠点として考えているか、市営総合運動場の活用方法を教えていただきたい。
事務局	<p>構想図では、合同庁舎や法務局等がある行政サービス複合拠点として位置付けているが、市営総合運動場は通称で、計画では葦崎公園という名称で、市民に親しまれる公園づくりのため、葦崎中央公園と同じく民間活力を生かした公園整備を考えており、都市公園としての位置づけも引き続き行っていく考えである。</p> <p>体育館はなくなってしまうが、グラウンドやテニスコートと併せて、芝生広場の整備を行う予定であるので、スポーツに限らず住民に使ってもらえるような方向性で、教育課を中心に検討しているところである。</p>
A 委員	今回の体育館など様々な施設がなくなっており、さびれてしまうという懸念を聞いているので、芝生広場という形で残るのであれば、しっかりとした利用方針を打ち出して、活気のある地域にしていきたい。
会長	今の話は、本編にも書いてあるか。
事務局	本編の地域別構想の葦崎・藤井地域のまちづくり方針で、葦崎公園の民間活用、魅力的な公園整備について記載している。
B 委員	2ページ目の計画の位置づけについて、山梨県都市計画区域マスタープランとあるが、山梨県都市計画マスタープランと各都市計画区域マスタープランを策定しており、任意計画の山梨県都市計画マスタープラン第5章のなかに、法定計画である各都市計画区域マスタープランを含んでいるという立て付けである。そのため、直す場合の案とし

	<p>ては、山梨県の各都市計画区域マスタープランとするか、山梨県都市計画マスタープランとするか、甲府盆地七都市計画区域マスタープランとするかのどれかと思う。検討してどれかにしていただきたい。</p> <p>計画づくりの体制について、市長と韮崎市都市計画審議会の間に協議とあるが、協議としては策定委員会の位置付けが正しい。都市計画審議会は諮問して答申する位置づけであるので、直していただきたい。</p> <p>最後のページの指標について、市はこれまでの施策を続けていくだけでは、令和25年には2万1,480人になってしまうので、それを2万4,000人台で食い止めたいということを目指している。そのためには、全庁を上げていろいろな施策を講じる必要があると思うが、最後にいきなり指標が出てきて、その部分についての説明が概要版にはない。本編にはグラフが出てくるが、概要版でもある程度わかるようにしたほうが親切ではないか。</p>
事務局	<p>具体的にどういうふうに入れ込むかは、持ち帰って検討する。</p>
D 委員	<p>6まちづくりの進め方にある評価のチェックのスペルが間違っているので、修正いただきたい。</p>
事務局	<p>修正させていただく。</p>
F 委員	<p>市民だけでなく、市外の方が見て住んでもらえる、興味をもってもらおうという意味では非常によくできているが、見やすいように、簡素化するほうがよいのではないか。</p>
事務局	<p>検討したいと思う。</p>
A 委員	<p>最後のページの指標で観光入込客数の目標を100万人としているが、2.まちづくりの主要課題などに観光が見当たらないが、観光の施策をどう力を入れて、100万人規模とするのか。</p>
事務局	<p>こちらの施策だけで数字に直結するかというと、非常に大きな数字であるし、前回の委員会でも現実的な数値ではないのではないかとのご意見をいただいたところであるが、韮崎に来ていただける、観光は重要であるというところから、人口ビジョンで設定されていることから、本計画でも設定している。</p> <p>4ページ目の3持続可能な活力を育むまちで、観光資源の発掘・PRやシティプロモーションを載せている。今後、歴史・文化というところで、新府城の博物館整備の検討もしていくため、4先人の想いを引き継ぐまちも、観光という部分では大きく寄与していくのではないかと考えている。この施策だけで数字を達成できるかということについては、人口を減らさない、人に来ていただくまちづくりを推進し、しっかり取り組んで目標に向かって努力していきたいと考えている。</p>
A 委員	<p>韮崎には人の呼べる観光地、歴史文化があるので、それを整備して、選ばれるようなまちづくりをしていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>

G 委員	本町の保育園と幼稚園では、小さいお子さんが、通学路とは別に、保育活動の一環としてご近所を散歩している活動をしている。県道では歩道の整備がされているが、市道の幅がなく、端に列を作って歩いている。議員さんにグリーンベルトをひいてほしいとお願いしていたことがあるが、そういうことを整備していただきたい。
会長	安心・安全のところに入っている内容か。
事務局	おっしゃるとおり、8安心して住み続けられるまちに入っているという認識である。グリーンベルトの要望については各地区からも聞いているので、順次整備していければと進めている。
会長	意見がなければ、これで会議を終了とする。
(2) その他	
事務局	質問、意見あればお伺いしたい。
C 委員	今回で最後ということで、修正された最終版はいただけるか。
事務局	今後の予定と合わせてご説明させていただく。原案として修正し、都市計画審議会に市長から諮問し、答申を経て最終版となる。最終版については各委員に計画書を送付し、最終のご報告とさせていただく予定である。
会長	それでは、進行を事務局にお返しする。
4. その他	
内藤委員	<p>副市長の内藤でございます。各委員おかれましては大変お忙しいなか、2年間の長きにわたりご協力いただき厚く御礼申し上げます。本来であれば市長により御礼のご挨拶をすべきところであるが、あいにく日程調整がつかずお詫び申し上げます。</p> <p>2年前より委員ということで参加をさせていただいた。本来であれば行政の立場で意見を言わせていただく場面が多いが、今回は皆様の活発な意見を聞かせていただいた。</p> <p>おかげをもって、当初の予定どおり計画完成のめどがつき、将来に向かってまちづくりをしていくうえでの基本的な方針ができあがったところである。</p> <p>市は、消滅可能性自治体という厳しい評価をいただいております、市長も苦慮している。来年度から上位計画である総合計画の見直しに着手し、都市計画マスタープランをベースに具体的な施策の展開について持続的な行政運営を進めていく。</p> <p>策定委員会は今回で最後となるが、今後ともご指導、ご協力をよろしくお願ひしたい。</p>
5. 閉会	